

2026年4月

フランス生まれのケア技法の普及・浸透に取り組む日本ユマニチュード学会
ユマニチュード認証のブロンズ認証事業所を新たに決定



一般社団法人日本ユマニチュード学会（東京都目黒区、代表理事：本田美和子）は、ユマニチュード ブロンズ認証事業所として、「西部ガスライフサポート株式会社 アンペレーナ百道 ケアセンター」を新たに決定しました。

■ 新規ブロンズ認証取得事業所のご案内

西部ガスライフサポート株式会社 アンペレーナ百道ケアセンター

西部ガスライフサポート株式会社 アンペレーナ百道では、ユマニチュードの哲学と5原則を大切に、スタッフが共通理解のもとケアに取り組んでいます。日々の関わりを通じてご入居者の尊厳と安心を守り、住み慣れた生活を支える「良いケア・良い生活の場」の実現を目指しています。



名称： 西部ガスライフサポート株式会社
アンペレーナ百道ケアセンター
種類： 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
URL： <https://www.anperena.jp/>
住所： 福岡県福岡市早良区百道浜3-9-17
定員： 33名



■ ユマニチュード認証制度とは (<https://jhuma.org/label/>)

ユマニチュード認証制度は、ユマニチュードを通じて質の高いよいケアを実践している組織を、明確な評価基準を元に評価・育成・支援し、誰もがお互いの自律を尊重し、幸せに過ごせる社会の実現に寄与することを目指して生まれました。本部のあるフランスでは2013年にスタートし、現在までに38の事業所がユマニチュード認証（日本のゴールド認証に相当）を取得しています。日本では、2022年4月からパイロット事業として導入を開始し、2023年5月には、日本初となるユマニチュードブロンズ認証事業所が2事業所誕生しました。日本のユマニチュード認証制度は、日本財団の支援を受けて誕生しました。

ブロンズ認証取得事業所 <https://jhuma.org/label/labelmember-c/>

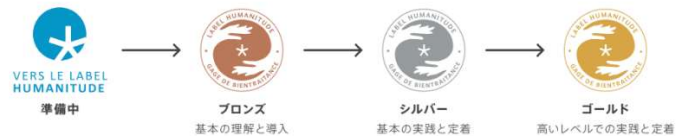
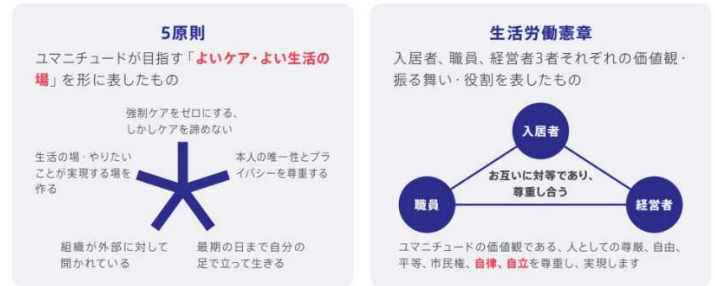
■ユマニチュード認証制度の概要

ユマニチュードの認証評価基準は、「5原則」と「生活労働憲章」に基づいて定められています。

その特長は、下記の3点です。

- 1) ケアの質をわかりやすく可視化
- 2) 日本の各種制度と連携
- 3) 取り組みの進捗を見える化

認証の種類には、「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド（国際認証）」の3段階があります。



認証の入り口とも言える「ブロンズ」は、1)ユマニチュードに組織をあげて取り組む体制が出来上がっており、かつ2)職員がユマニチュードの基本を理解し、実践に取り組んでいる組織に対して認証されるものです。

ユマニチュードに組織を上げて取り組むことで、「入居者・患者・利用者」「職員・専門職」「経営者」の3者が、お互いを尊重し、生きがい、やりがいを感じながら、さまざまなメリットを享受し、幸せに過ごせるようになります。

■「ユマニチュード®」とは (<https://jhuma.org/humanitude/>)

フランス人の体育学教師イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティが生み出したコミュニケーション・ケア技法です。1979年以来40年以上の歴史を持ち、『ケアする人とは何かを考える哲学』と『その哲学を実現するための技術』からなります。介護を必要とする人どなたに対しても有効に実践でき、ユマニチュードによって、介護される人のBPSD（認知症の行動・心理症状）の改善に加え、介護する側の負担感や離職率を改善させ、薬剤やおむつの使用量を減らすことによる医療費削減効果が報告されています。日本ユマニチュード学会では、ユマニチュードの効果とより良い活用方法を科学的に解明・実証するために、世界中の大学等研究機関の医学・看護学・情報学・心理学等の専門家と、様々な共同研究を進めています。(<https://jhuma.org/study/>)

この件に関するお問い合わせ：一般社団法人 日本ユマニチュード学会

info@jhuma.org

電話03-6555-2357(受付時間 10:00-15:00(土日祝を除く))

※受付時間外の場合は、メールにてお問い合わせください